

令和6年度 学校評価書(共通) 前期

校名

宇和島市立北灘小学校

1 自己評価書

教育目標「北灘を愛し、心豊かに、生き生きと活動する児童の育成」 スローガン「大好き！ふるさと北灘！」					
基本方針 北灘地区の文化と伝統、地域人材を生かし、ふるさとに愛着を持ち、心豊かに生き生きと活動する児童の育成を目指して、保護者や地域と共に歩む学校づくりを推進する。					
本年度重点目標 ①社会の変化に対応するための豊かな知識・技能を習得させ、想像力を高める教育を推進する。 ②多様な人との協働的な活動を通して、個のよさを実感させ、それぞれの可能性を伸ばす。 ③児童が健康で安全に過ごし、心身ともに安心して学校生活を送ることができる環境を整える。					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
確かな学力の定着と向上	① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析により成果と課題を把握するとともに、「身に付けさせたい力」の明確化を図り、組織的に推進することができた。	・分析資料の作成	B	後期のみのみ
			・具体的な対策の実施	B	
	② 授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。 ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。 一人1台端末(iPad)やEILS(コンテンツバンク)の活用により、個別最適な学びを推進したり学習内容の定着を図ったりした。	・教師アンケート	B	A
			・保護者アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	A	
	③ 家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート	B	B
			・保護者アンケート	C	
			・児童生徒アンケート	A	
	④ 読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート	A	B
			・保護者アンケート	C	
・児童生徒アンケート			A		
⑤ ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート	B	A	
		・保護者アンケート	A		
		・児童生徒アンケート	A		
<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習のねらいを明確にした授業実践は、児童が主体的に学ぼうとする意欲の向上につながった。</li> <li>○ 積極的に声掛けしたり、放送や掲示物を使っての読書活動の啓発をしたことで、図書室を利用する児童数は増え、意欲は向上した。</li> <li>△ 課題に取り組む姿勢、費やす時間には個人差があるため、タブレット端末、読書を含めた家庭学習に関する項目は評価に開きが見られる。</li> </ul> <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭学習習慣については、個別の対応と家庭との連携が不可欠である。チェックシートを使った情報交換により、個別の指導に一層努める。</li> <li>・ 読書を宿題にしたり、学級での図書紹介の機会を増やしたりすることを通して、読書に取り組もうとする雰囲気を高めていく。</li> </ul>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	B	A
			・保護者アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	A	
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。 不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。 いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート	A	A
			・保護者アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	B	
			・保護者アンケート	A	
	③ 関係機関との連携	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども支援教室わかたけ等の積極的な活用を心掛けた。	・教師アンケート	B	B
			・児童生徒アンケート	A	
			・保護者アンケート	B	
④ 自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート	B	B	
		・児童アンケート	B		
		・教師アンケート	C		
<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業中はもちろん、休み時間も一緒に遊びながら児童を見守るよう努め、指導や集団づくりに生かすことができた。</li> <li>△ 「よい点は褒める」「達成したら褒める」を全教職員で徹底したことは、児童の自己有用感の涵養につながっていると考えるが、教師の評価との差が見られる。</li> </ul> <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の言動から更なる自尊感情の高まりが感じられるよう、今後も適切な支援、声掛けに努めたい。また、高学年において学期末に実施したワークショップ形式の授業が効果的であった。友達の良いところ探し、構成的グループエンカウンターなどを学級活動に取り入れていく。</li> </ul>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	① ワーク・ライフ・バランス	時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指すために、教職員の働き方の意識改革に努めた。	・教師アンケート	B	B
			・「出勤・退庁調査」の分析と活用	A	
	② 働きやすい環境づくり	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。 休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	B	B
・教師アンケート			A	A	
③ 他の教職員のサポート体制の充実	教職員同士が仕事を手助けしたり、スクールサポートスタッフ、地域人材などを積極的に活用したりして、職場の仕事のサポート体制が充実した。	・教師アンケート	A	A	
<p>(成果と課題)</p> <p>○ 課外活動(水泳)では、特定の教職員に指導を委ねず、校長を含めた全教職員が交代で行った。また、水泳指導に当たる教職員の業務を他の者が分担して行うなど、一部の教職員に仕事が集中しないよう適切な課外活動の運営ができた。</p> <p>○ 家庭(保護者)の理解を得て、家庭訪問や個別懇談を勤務時間内に実施できたことは、働き方改革の確実な一歩となった。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・ 超過勤務を減らす意識をもち続けなが業務改善に取り組む一方、児童の向上心や熱意、期待に応えられるよう勤務に当たる。今後も「働きやすさ」と「働きがい」の両立を目指す。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	① 学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。 学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、熟議によって地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート	A	A
			・教師アンケート	A	
			・保護者アンケート	A	
・地域アンケート			A		
② 情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート	B	A	
		・保護者アンケート	A		
		・地域アンケート	A		
③ 来校・相談体制	来客・電話対応を丁寧に行い、保護者や地域の方々の声をしっかりと聞くことで、来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A	
		・保護者アンケート	A		
		・地域アンケート	A		
<p>(成果と課題)</p> <p>○ 学校運営協議会に管理職だけでなく、テーマによって養護教諭や生徒指導主事が参加するようになった。学校生活の様子を地域の方に具体的に伝えることができたと同時に、教職員もその場でどのような熟議が交わされ、活動をしているのかを知ることができた。</p> <p>○ 老人会と行った「輪投げ大会」、総合的な学習の時間で行った「魚釣り大会」等を通して、地域との連携を深めることができた。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・ 本年度は学校運営協議会委員だけでなく、PTA評議員(有志)を交えての意見交換会も予定されている。今後も学校・保護者・地域が連携を取りながら、「北灘を愛し、心豊かに、生き生きと活動する児童の育成」に努めていく。</p> <p>・ 今後も様々な体験活動を計画している。地域学校協働活動推進員が窓口となり、ふるさと学習に積極的に取り組んでいく予定である。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満